



平成 30 年 1 月 17 日

各 位

会 社 名 T P R 株式会社  
代表者名 代表取締役社長兼 COO 岸 雅伸  
(コード：6463、東証第一部)  
問合せ先 経営企画室長 塚本 英貴  
(TEL. 03-5293-2811)

## 当社連結子会社における不適切な会計処理が行われた疑義の判明のお知らせ

この度、当社連結子会社である株式会社ファルテック(コード：7215 東証第一部、以下「ファルテック」といいます。)の平成 29 年 3 月期の棚卸資産評価及び中国の子会社の売上計上について不適切な会計処理(以下、「本件会計処理」といいます。)が行われていた疑義が判明いたしました。

現在、ファルテックは、これら不適切な会計処理内容の詳細ならびに影響金額を含む全容について鋭意調査中でございます。

なお現時点においてこれら疑義により、当社としまして約 700 百万円の影響(平成 29 年 9 月 30 日現在の棚卸資産の過大計上約 640 百万円及び売掛金の過大計上約 60 百万円)があるものと推定しておりますが、調査次第によっては変動の可能性があります。

このような事態が発生しましたことは誠に遺憾であり、株主・投資家の皆様をはじめ、市場関係者及び取引先の皆様に、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますことを、心よりお詫び申し上げます。

### 記

#### 1. 棚卸資産評価に関わる疑義が確認された経緯について

ファルテックにおける内部監査で、長期滞留在庫の棚卸資産評価が正しくなされているのかについて、疑義があることが平成 29 年 12 月下旬に判明し、ファルテックにおいて社内調査を行ってまいりましたが、本日開催のファルテック取締役会において、不正調査等に豊富な経験を有する弁護士及び公認会計士の外部専門家が委員として参画した特別調査委員会(※注)(以下「特別調査委員会」といいます。)の設置を決議し、今後、事実関係の解明、原因の究明及び資産評価額の適正性に関する調査ならびに再発防止策の策定を行ってまいります。

#### 2. ファルテック中国子会社の売上計上の疑義について

また、中国子会社(佛山発爾特克汽車零部件有限公司)における売上計上に誤りがあるのではないかという疑義のあることが判明し、特別調査委員会において事実関係の解明、原因の究明及び本件売上の適正性に関する調査ならびに再発防止策の策定を行ってまいります。

#### 3. 当社業績に与える影響および今後の対応

本件会計処理による影響額は現在調査中ではありますが、特別調査委員会による調査結果を踏まえ詳細な影響額が明らかになった時点で、速やかにお知らせいたします。現時点で想定される影響額を前提とし、当社としましては過年度修正ではなく、当年度(第 3 四半期)において処理をする予定です。

また、平成 30 年 3 月期第 3 四半期決算については当初予定通り 2 月 13 日に発表し、業績予想の変更は考えておりませんが、変更がある場合は、速やかに開示をいたします。

※注 特別調査委員会の構成

委員長	本村 健	弁護士 岩田合同法律事務所
委員	井上 寅喜	公認会計士 (株)アカウンティング アドバイザリー 代表取締役社長
委員	中原 健夫	弁護士 弁護士法人 ほくと総合法律事務所

株式会社 ファルテックについて (コード: 7215 東証第一部)

設 立: 2004年4月1日

資 本 金: 22.6億円

従 業 員 数: 2,622名

売 上 高: 835億円 (平成29年3月期)

当社出資比率: 55.5%

以 上